

8211 結婚して十年。主人は新聞のスポーツ面, . . .

結婚して十年。主人は新聞のスポーツ面, ラジオ・テレビ面のほかは, いっさい読みません。「せめて目を通すだけでも通してみたら」と言っても厭な顔をするばかり。

先日, 「サミットって何のこと?」とカマをかけてやりました。「大統領の名前やろ」アア情けない。「ロッキードの橋本と佐藤に有罪判決おりてんて。」「なんやそれ?」アホか! それによく製造主任がつとまるナア。

朝日新聞日曜版より

[許容訳例]

We have been married for ten years. My husband doesn't read any paper articles except those about sports and the radio and TV programs. When I say, "How about glancing through the rest at least?" he just makes a wry face.

The other day, I posed him a leading question:

"What does 'summit' mean?"

"It's the name of a president, isn't it?"

Oh dear!

"Hashimoto and Sato in the Lockheed case were found guilty, I see."

"Lockheed--what's that?"

Is the man a fool? It's a wonder he can do his job as a production manager!

[翻訳例]

We've been married ten years. My husband reads nothing in the papers except the sports pages and radio and TV programs. When I suggest that he might at least glance through the other articles, he just looks disgusted.

The other day, I deliberately tested him:

"What does 'summit' mean?" I asked.

"The name of a president, isn't it?"

Good grief!

"I see Hashimoto and Sato in the Lockheed case have been found guilty."

"Lockheed--what's that?"

How dumb can one get? And to think that the man is a production manager!

■結婚して十年。(8211)

★「結婚して十年」は, We have been married for ten years.で正しい英語ですが, ここは軽い文章なので, We've been married ten years.の方がいいでしょう。なお, 同じ内容は Ten years have passed since we married.とも言えますが, ちょっと文学的な表現で, ここでは使いたくないような気がします。

■主人は新聞のスポーツ面、ラジオ・テレビ面のほかは、いっさい読みません。 (8211)

★「主人」は my husband でしょう。

★「新聞の」は in the newspaper でしょう。なお、the newspaper は the newspapers でもいいし、the papers でも the paper でもいいです。

★「スポーツ面」は the sports page(s)です。「面」を「記事」と解釈するなら articles でしょう。辞書には「新聞記事」に account も当てていますが、これは記事そのものではなくて、‘どういう風に記述し、説明したか’というその内容を強調する場合に使います。たとえば、The newspaper accounts were very sensational. のように。

★「ラジオ・テレビ面」は radio and TV programs です。

★「・・・のほか」は except…とか apart from…です。

★「いっさい読みません」は(my husband) doesn't read anything…です。なお doesn't read anything は read nothing…としてもかまいません。

■「せめて目を通すだけでも通してみたら」と言っても厭な顔をするばかり。 (8211)

★「せめて・・・だけでも」は at least です。

★「目を通すだけでも通してみる」は「だけでも」を外すと「目を通してみる」です。ただ、こここの「目を通す」は「一回きっと〔ぎっと〕全面に目を通す」(give the newspaper once-over)という意味より軽い意味と思われます。使えるのは run an eye through…(一瞥する)とか、もっと自然に出てくる表現は glance through…です。

★「(通して) みたら」と言っても」ですが、ここで how about…?を使うのは問題です。この表現は、たとえば、You look very tired. How about having a rest? のように、一つの案として具体的な行為を勧める場合に使うものです。それに、しばしば言っていることですが、英語では背景的記述には日本語のように地の文に直接話法を差し込むことを好みません。したがって「言って」に say を使って When I say, “How about…?”などとしないで、「…してみたら」は‘助言・勧告’ですから、suggest とか recommend というような動詞を使って when I suggest (that) he might at least (just) glance through [run an eye through]…と間接話法に変えて訳します。

● [ても] (when と if)

「・・・と言っても」の「[ても]」は、if を使うと「(たとえば) 仮に・・・と言っても」という感じになります。when を使うと、「(実際に) 時々・・・と言ってみると」という感じになります。こここの「ても」は実際に言ったことがあると解釈するのが普通でしょう。ですから、if より when です。

★「厭な顔をするばかり」は he just makes a wry face とか he just looks disgusted です。アメリカ英語で「いやな顔をする」を表すと he just gives me a dirty look でしょう。

■先日、「サミットって何のこと？」とカマをかけてやりました。 (8211)

★「先日」は the other day です。

★「サミット」は the summit と定冠詞が必要です。

★「・・・って何のこと？」は、ここから対話が続くので、直接話法を使うことになりますが、「サミットって何のこと？」を“What is the summit?”とすることは出来ません。この質問に対する答えが「大統領の名前やろ」なので、定冠詞が邪魔になります。それで、What does ‘summit’ mean?”とします。

★「カマをかける」は、アメリカ系の和英辞典では「(言葉で) だまして・引っかけて・・・させる」(trick someone into …ing)が当てられています。古い齊藤の和英辞典では surprise someone into …ing (虚を突いて・・・させる) が当てられていますが、ここではそれほどではなく、「何らかの下心・悪意を持って尋ねる・試す」ということですから、I deliberately mentioned[tested] him. でしょう。deliberately を使うと日本語の「カマをかける」にあるちょっと嫌なニュアンスが出てくると思います。なお、「誘導尋問」(a leading question)を使うなら I put a leading question. とするか I posed him a leading question. でしょう。なお、「(カマを) かけてやりました」は、ここでは「試しに尋ねた」ということですから、I asked[said] などの伝達動詞が必要なのですが、I deliberately mentioned[tested] him にコロンを付けて直接話法を配置すれば伝達動詞の代わりになります。

■「大統領の名前やろ」(8211)

◆‘a[the] …’s + noun’について

「大統領の名前やろ」は付加疑問を使う典型的な場合です。ですから(It’s) the name of a president, isn’t it? です。ところで、ここを It’s a president’s name, isn’t it? とすると、たとえば、a girl’s name が「ある (特定の) 女の子の名前」という場合と「女の子によく付ける名前」という場合の二つの意味を指すのと同じで、曖昧になってしまいます。したがって、「どこの国の大統領の名前」として言う場合は It’s the president’s name, isn’t it? です。

■アア情けない。(8211)

★「アア情けない」に Oh, dear! でもおかしくありませんが、本来この表現は、たとえば、Oh dear! I forgot to telephone Mrs. Tanaka./ Oh, dear! It’s raining again. のように軽い感じで使います。それで、ここではちょっと弱いです。ここはいろいろな表現ができますが、たとえば、Heaven help us! とか、Good grief! とか、God! とか。どれもあきれきったという場合によく使う表現ですが、こういう言葉というのは、流行とか、個人の好みとか、年齢のよって様々と思います。

■「ロッキードの橋本と佐藤に有罪判決おりてんて.」(8211)

●「隠れ連体修飾節」の「[の]」(ロッキードの橋本と佐藤)

「[の]」は連体修飾節を端折るためによく使われます。したがって「ロッキード [の] 橋本と佐藤」は「ロッキード事件に連座させられた橋本と佐藤」ですから「連体修飾節 (ロッキード事件に連座させられた) + 特定体言 (橋本と佐藤)」となり、英語では「特定名詞 (Hashimoto and Sato) + コンマ関係詞節 (, who were involved in the Lockheed case)」となります。‘, who were involved’ は省略しても同じ意味になるので「ロッキードの橋本と佐藤」は、英語でも端折って Hashimoto and Sato in the Lockheed case となります。

★「有罪判決おりてんて」→「有罪判決を受ける」be found guilty ですが「おりてんて」は「おりたんだって」に近く、見て・読んで得た情報をあたかも伝聞のように述べたものです。したがって、I hear…ですが、ここは新聞の話なので I see…で始めるか、文末に付加する形をとるかになります。I see Hashimoto and Sato in the Lockheed case were[have been] found guilty.です。なお、この場合の完了形は、何らかの主観的感情を加味するもので、アメリカの新聞では見られませんが、イギリスの新聞の見出しにはよく使われています。

■「なんやそれ？」(8211)

★「なんやそれ？」は、何のことだかさっぱりかわからないから尋ねたのですから「それ」はお互いに了解していることではありません。したがって、What is it?は使えません。「ロッキードの・・・」がわからないなら Lockheed--what's that?ですし、ロッキードのことではなく言われたこと全体がわからなくて尋ねているとすれば What are you talking about?です。この場合、これが一番いいと思いますが、あるいはもっと短くして Eh?としてもいいでしょう。

■アホか！(8211)

★この「アホか！」は相手に対して直接言っているのではなく自分の気持ちを言っているだけですから、Are you a fool?はおかしいです。「こいつ、アホか！」の感じなら Is the man a fool?でも許されますが、英語では、こういう場合、How dumb can you get!という表現を使うと思います。この場合の you は二人称ではなく one の意味です。なお、dumb は I didn't think that somebody could be as dumb as this, but this person has shown that there is no limit to foolishness. のように、「もうあきれてしまう」という感じで使うものです。

■それでよく製造主任がつとまるナア。(8211)

★「それでよく・・・ナア」は It's a wonder…(・・・とはびっくり)とか And to think that…(・・・とは驚きだ) [to の代わりに just を使って命令文にすることもあります] などでいいでしょう。

★「製造主任」は a production manager でしょう。

★「つとまる」は「首にならないで〔失脚しないで〕自分のポスト〔仕事〕を続けて〔守って〕いる」という意味の hold down a job を使って It's a wonder he can hold down a job as production manager と言うこともできます。もっと簡単に And to think the man is a production manager!も可能です。この場合の the man は、相手をちょっと軽蔑した感じになります。